

「学校における業務改善」

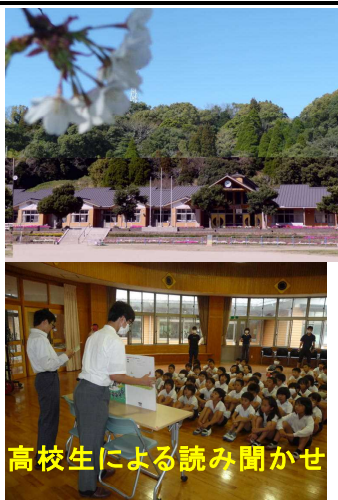
「南大隅町立神山小学校」の実践紹介

効果が期待される取組

- 家庭確認訪問
- 朝の帯を一本に
- 放課後の会議は月火水
- 中高との連携
- 4月は5時間授業（1年生は4時間）
- 定時退校日・リフレッシュウィーク設定

実施前の課題

- 年度始め・末の事務量が膨大になり、在校時間が長くなりがちである。
- 会議が多く放課後に余裕がない。
- 「忙しい」の言葉が行きかい、余裕をもって職員間のコミュニケーションを取ることができない。
- 業務に追われ、学力向上について手段を講じることが難しい。



高校生による読み聞かせ

実施後の成果

- 教職員と子どもの接する時間が増えてきた。
- 職員の輪を意識できるようになってきている。
- 滞校時間の長い職員もいるが、人数・時間が減少した。
- 仕事運営上、スリム化や効率化を考慮するようになった。
- 授業をパターン化できるようになり、学力も向上している。

業務改善を目指した取組の詳細

Point 1 意識改革

- コミュニケーション週間の設置
(毎月の最終週一週間:管理職と職員の相談週間)
- 退校目標時刻と定時退校日の設定
(退校目標時刻は19時,定時退校日は金曜日)
- 企画委員会のスリム化
(管理職と三主任:主任による行事の把握)
- 子ども理解
(教育相談の充実:夏までに全児童の教育相談実施)

Point 2 事務の負担軽減・専門スタッフ

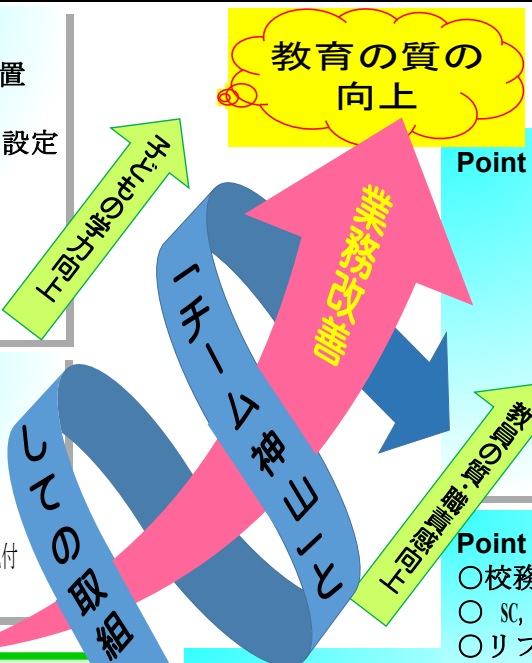
- 中高との連携
(小中の学習の接続,高校生による学習支援)
- SC, SSW の効果的活用
- 管理職による学力向上への関与
・授業改善への取り組み・分析,Web 問題の計画的配付
・作文指導

Base「セクショナリズムの緩和」

(業務は)「できる人が
できるときに
できることを」



教育の質の
向上



Point 3 授業準備の効率化と時間確保

- 家庭確認訪問
(一件5分:玄関先訪問)
- 校時表の見直し
(朝の帯を一本に:放課後に余裕)
- 放課後の会議は月・火・水
(木・金の放課後は学級の時間)
- 4月の日課表の工夫
(1年:4時間,2~6年:5時間)

Point 4 町教委との連携

- 校務システムの導入
- SC, SSW 等, 心身の健康問題についての相談窓口拡充
- リフレッシュウィークの設定
- ICT 機器, 大型 TV 等の設置
- 学習支援員の計画的配置

Point 5 その他

- 学習環境整備
(緑化・保健衛生面の整備)
- 家庭・地域との連携
(消防団, PTA 役員による行事時の交通整理, 学校行事の支援)
- 職員研修充実による授業力向上

今後の課題, 計画

- 行事の精選・統合 (スクラップ&ビルド&ミックス)
- 校務システム活用による簡略化された会議・運営 (ペーパーレス化, 週一回の職朝)